

創立60周年記念

NPO法人 磐田市体育協会 体育史 ～合併からの飛躍～



発刊のことば

NPO法人磐田市体育協会
会長 杉 山 元

磐田市体育協会は、昭和23年の市制施行の翌年、昭和24年に、陸上、野球、庭球、柔道の各競技団体関係者の熱意と努力によって設立されて以来、本年で60周年を迎えることになりました。

その間、歴代の会長をはじめ各競技団体、体育、スポーツ関係者によって市民の健康、体力づくりはもとより、競技力向上とスポーツの振興を図るため毎年各種大会及び諸事業を実施しております。

平成17年4月1日に、旧磐田市、旧福田町、旧竜洋町、旧豊田町、旧豊岡村の5市町村が合併して新「磐田市」が誕生しました。

当体育協会も行政の合併に合わせて平成14年に磐南体育協会合併連絡会を発足し、話し合いを進め、旧市町村5体育協会が合併しました。

合併前には、旧磐田市体育協会は、平成13年4月2日に、NPO法人格を取得（体育協会としては全国4番目）しました。

平成16年4月、磐田市体育施設指定管理者に認定を受け15施設の管理運営がスタートしました。

平成19年には、全国の体育協会として前例のないISO9001、ISO14001を認定取得し、組織の強化を図りました。

また、平成20年度～25年3月の5年間、磐田市体育施設指定管理者として磐田市総合体育館外11施設、福田屋内スポーツセンター外13施設、東大久保運動公園外3施設を競争入札により落札し管理運営することとなりました。

思い起こせば、平成13年、W杯日本代表のベースキャンプ地に磐田スポーツ交流の里ゆめりあに決定。平成14年、ジュビロ磐田Jリーグ完全優勝達成。平成15年、「NEW!!わかふじ国体」では軟式野球、バスケットボール、自転車ロードレース、サッカー。「わかふじ大会」は、サッカーを開催しました。また、ラグビーではヤマハ発動機ジュビロがトップリーグに参戦。

平成16年には、天皇杯でジュビロ磐田優勝。磐田市が全日本高等学校女子サッカー選手権大会開催地となりました。アテネオリンピック大会には、ジュビロ磐田の山本昌邦監督、石井、菅野コーチ、菊池直哉選手が出場し、大いに市民の関心を集めることとなりました。全国高等学校総合体育大会では、棒高跳びで磐田南高校の川口直哉選手優勝。全国中学生テニス競技大会では城山中学校の原田恵美、松島美智留ペア優勝。平成17年には、磐田東高校サッカー部が全国大会出場。平成19年には、竜洋サッカースポーツ少年団が県大会優勝、全国大会出場。平成20年、全国小学生卓球選手権大会で豊田町スポーツ少年団の伊藤美誠さんが優勝、全国中学生相撲大会で神明中学校の太田雅章君が優勝。北京パラリンピック大会のマラソン競技で、新野正仁さんが第19位。平成21年に入り、世界卓球選手権大会ダブルスで水谷隼君が第3位とさまざまな活躍が見られました。

このような時期に当会で「磐田市体育協会創立60周年記念誌」を発刊し、磐田市の体育、スポーツの発展と軌道を辿り、一層の飛躍を期待するものです。

本誌が多くの皆さんに活用されますことを念願するとともに、編集にあたられた方々や、原稿を執筆して下さった方々に厚くお礼申しあげ、発刊のことばといたします。